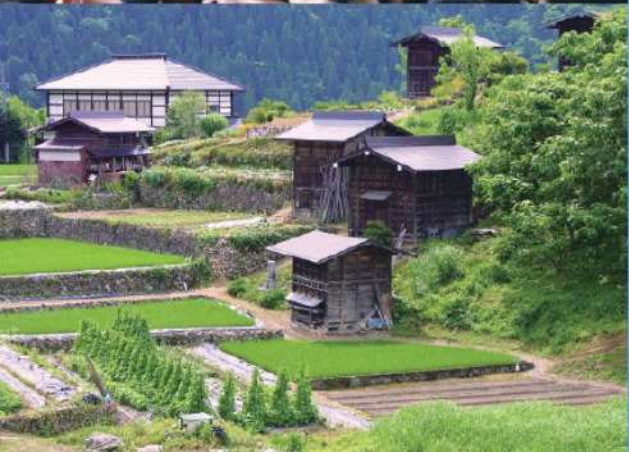




元気であんな誇りの持てるふるさと

飛騨市

Hida City
Overview





岐阜県飛騨市

飛騨市は、岐阜県の最北端に位置し、周田は3000mを超える北アルプスをはじめとする山々に囲まれ、四季の移り変わりを肌で感じることができるとても自然に恵まれた地域です。また豊富な自然資源のほか「スーパーカミオカンデ」をはじめとした宇宙物理学研究施設、NHK朝ドラの舞台となった「白壁土蔵と瀬戸川・古い町並み」、棚田と板倉が残る農山村の原風景、豊かな自然と水・雪を活かした酒づくりなど、多彩で個性にあふれた地域資源があります。2004年(平成16年)に人口約3万人で誕生しましたが、日本全体の倍のスピードで人口減少が続いており、全国の人口構成等の推移を先取りしている「人口減少先進地」です。人口減少を正面から受け止め、今後人口が減少することを前提として、あらゆる未知の課題に対し柔軟かつ臨機応変に対応しながら豊かなまちづくりを展開しています。

課題の数は、
伸びしろの数だと思う。



©東京大学宇宙線研究所
神岡宇宙素粒子研究施設
世界最先端の宇宙物理学研究

神岡町には「ニュートリノ」の研究でノーベル物理学賞をもたらした「スーパーカミオカンデ」をはじめ、宇宙と素粒子の謎を探究するための研究拠点が集まっています。素粒子ニュートリノの検出を目的とする研究施設「スーパーカミオカンデ」の後継である「ハイパーカミオカンデ」を現在建設中です。また、重力波の検出を目的とする大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」も観測を開始しています。



広葉樹

飛騨市は全国市の中で最も森林率が高く、その約7割が広葉樹。チップにしかならなかった飛騨市産広葉樹材を付加価値の高い商品として加工・販売することで、地域資源の価値創造と産業化、森林循環の仕組みを創ります。

薬草

市内に245種類の薬草等の有用植物が自生しているという特性を活かし、地域のNPOや医薬品メーカー等との連携により、薬草体験が楽しめる「ひだ森のめぐみ」の運営や、薬草のイベントや勉強会の開催、商品の開発などを行っています。全国薬草フェスティバルを開催し、薬草のまちづくりを展開しています。



特色ある地域資源



瀬戸川と白壁土蔵街



ひだ宇宙科学館 カミオカラボ



薬草体験施設ひだ森のめぐみ



レールマウンテンバイク Gatten Go!!



飛騨古川まつり会館



天空の牧場 奥飛騨山之村牧場

観光体験施設



工芸品

特産品

飛騨牛
米
ほうれん草
トマト
鮎
日本酒

予算規模 198億円(一般会計)

(令和7年度)

『田舎暮らしの本』2月号 2025年版
住みたい田舎ベストランキング



東海エリア 総合3位

人口1万人以上
3万人未満のまち 総合10位

全国の市で1位

人口
21,500人
(2025.4.1)

面積
792.53
km²

森林率
93.7%

産業構造
製造業(市外雇用)
32.6%

祭



4/19.20 飛騨古川祭



4月 第4土曜日 飛騨神岡祭



1/15 三寺まいり

9月 第4土曜日 さつね火まつり

2月 第4土曜日 飛騨神岡 初釜琵琶祭



01

商工振興

による外貨の獲得



市産品のブランディングを目指したブラッシュアップや首都圏でのテストマーケティング、アジア圏への輸出支援のほか、ネット市場の開拓を目指したふるさと納税勉強会やネットショップ倶楽部による勉強会を実施しています。また、産業人材の確保対策では外国人材の活用促進や事業所の魅力PRセミナーなどのほか、ふるさと納税を活用した事業者支援にも取り組んでいます。



02 他の観光地でない 魅力の創出



飛騨古川まつり会館、ひだ宇宙科学館カミオカラボ、レールマウンテンバイク“Gattan Go!!”など観光拠点施設の整備による観光客の促進と滞在時間の延長を図るほか、池ヶ原湿原や天生湿原など自然資源への誘客促進と保全を行う人材の育成に取り組んでいます。また、瀬戸川と白壁土蔵街などに代表される古い町並みの無電柱化等による景観整備を行っています。

05

誰ひとり

取り残さない支援

医療・介護人材確保のための研修整備や専門学校連携のほか、飛騨市では専門家と連携し、全世代の困りごとを支援する「地域生活安心支援センターふらっと」や児童精神科「こどものこころクリニック」、「学校作業療法室」を設置しています。また、給付金型奨学金、ひとり親家庭の支援に取り組んでいます。そして、多様性を認め合う信念のもと、「ダイバーシティ宣言」や「平和都市宣言」の実現を目指します。



03

持続可能な

農畜産業の振興

農産物販売拠点「飛騨産直市そやな」を核とした農畜産物の販売強化のほか、飛騨牛・米・鮎などのブランディング、有機農業の推進、首都圏料亭等への営業による農産物の販路拡大を図っています。また、人材確保では「飛騨トマト研修所」による研修環境の整備、農地保全では農畜連携による粗放的管理の実証に取り組んでいます。



06

健康寿命

を伸ばす充実の保健指導と生活サポート

すべての年代で健康診断を受診された方の健康状態を丁寧に把握し、生活習慣病予防のための個別指導を行っています。国民健康保険の特定健診や特定保健指導の受診率は国内でトップクラスです。さらに、市民の健康課題である減塩に市民と協働で取り組んでおり、厚生労働省の「第13回健康寿命をのばそうアワード」厚生労働大臣最優秀賞を受賞するなど、高い評価を受けています。



07

高齢者がいきいきと暮らせる支援

高齢者の外出・生活支援を目的としたクーポン「いきいき券」の配布、買い物弱者対策として官民連携した移動販売事業者への支援のほか、終活支援センター設置によるセミナーの開催や相談体制の強化を行っています。また、建設業者等との連携により雪下ろしにお困りの方をサポートする体制の構築に取り組んでいます。



高齢者の外出・生活支援を目的としたクーポン「いきいき券」の配布、買い物弱者対策として官民連携した移動販売事業者への支援のほか、終活支援センター設置によるセミナーの開催や相談体制の強化を行っています。また、建設業者等との連携により雪下ろしにお困りの方をサポートする体制の構築に取り組んでいます。

08

子育てしやすい環境の整備



保健師や助産師との連携による妊産婦や子育て親子のためのサロン「にこにこルームまるん」の設置、産前・産後の相談・生活支援制度の整備、産後ケアの無料券を配布しています。また、妊産婦一人ひとりに専属の助産師が寄り添い、サポートする「MY助産師制度」に取り組んでいます。さらに、市独自の出産祝い品や全ての子育て世帯へのクーポン券の配布、入園・入学準備品の購入支援を行っています。

09

地域防災力・基盤整備の強化



地域の防災力強化を目的とした防災士の育成のほか、行政区の防災業務を防災士が補佐する新たな組織の試行、防災士との連携による防災訓練を実施。子育て世代や子どもたちの防災教育、防災備蓄品の充実と移設可能な備蓄コンテナの整備、助産師と連携した「赤ちゃん防災士」による防災講座、災害医療について地域保健所や県と連携を深めています。また、市民生活を支える道路・橋梁の整備や安定的な除雪体制の構築に取り組んでいます。

10

歴史資源の保全と活用



史跡姉小路氏城跡の保存・利用に向けた計画策定のほか、山城マップやサイン等の環境整備、専門知識を持った案内ガイドの育成、史跡江馬氏城館跡やガイダンスセンター「神岡城」のイベント等での活用に取り組んでいます。また、ICTを活用した「飛騨みやがわ考古民俗館」の無人開館の実施、鉢都・神岡の歴史と文化を後世に繋ぐ「鉱山資料館」のリニューアルを目指しています。

11

地域資源の高付加価値化



245種が自生する薬草に着目し、体験・活用拠点「ひだ森のめぐみ」の整備や各種ワークショップ、関連商品の開発や薬草の栽培に取り組んでいます。また、森林の7割を占める広葉樹を活用し、川上から川下までのコンソーシアムによるサプライチェーンの構築を図ることで、薪やチップでしか活用されなかった広葉樹材の高付加価値化を図っています。

12

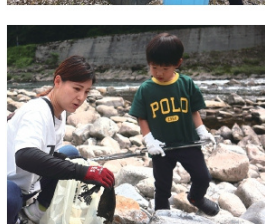
未来を生き抜く子どもの教育



保育園・小・中学校・高校、特別支援学校の連携により、子どもたちに「幸せな人生と持続可能な社会の創り手となる力」の育成を目指す「飛騨市学園構想」のもと、地域との協働による探究学習や校種間交流に取り組むほか、小中学校への校内教育支援センターの設置、保育園・小中学校への作業療法士の派遣による支援に取り組んでいます。また、タブレット端末などのICT機器やエアコン等の設置による学習環境の整備も行っています。

13

未来へつなぐ豊かな資源・環境



「飛騨市ゼロカーボンシティ宣言」の具現化に向け、リサイクルを推進する市民リーダーの育成やリサイクルしやすい環境の整備を行っています。また、電気自動車や省エネ家電、住宅用太陽光発電設備等の設置支援、専門事業者の伴走支援による再生可能エネルギーの活用促進に取り組んでいます。

アクセス



岐阜市からJR高山本線で2時間15分、富山市から1時間強。東海北陸自動車道・飛騨清見インターから県主要地方道を経由して30分に位置しています。

富山から

鉄道	約1時間15分 (高山本線)
車	約1時間30分 (国道360号・41号経由)
距離	74km

東京から

鉄道	約4時間30分 (東海道新幹線または北陸新幹線、高山本線経由)
車	約4時間40分 (中央自動車道・長野自動車道経由)
距離	315km

大阪から

鉄道	約4時間20分 (東海道新幹線、高山本線経由)
車	約4時間 (西宮線・東海北陸自動車道経由)
距離	308km

名古屋から

鉄道	約2時間40分 (高山本線)
バス	約2時間45分 (JR東海バス・名鉄バス・濃飛バス)
車	約2時間 (東海北陸自動車道経由)
距離	158km



発行日/2025年8月 発行/飛騨市役所企画部総合政策課

〒509-4292
岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

0577-73-2111(代表)
<https://www.city.hida.gifu.jp/>

